

**製品名: 切断型カテプシン L2 (L114) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab08978**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	37kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CTSL2
別名	CTSL2; CATL2; CTSU; CTSV; Cathepsin L2; Cathepsin U; Cathepsin V
遺伝子 ID	1515.0
SwissProt ID	O60911
免疫原	抗血清はヒト CATL2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 95-144

**背景**

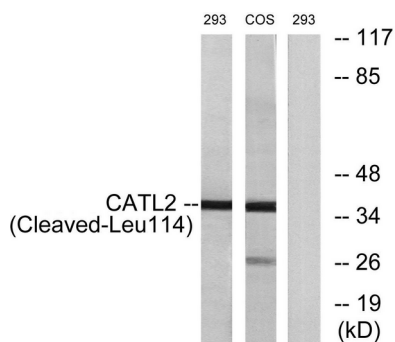
この遺伝子によってコードされるタンパク質はペプチダーゼ C1 ファミリーに属し、角膜生理において重要な役割を果たす可能性のあるリソソーム性システインプロテアーゼです。この遺伝子は大腸癌および乳癌で発現しますが、正常結腸、乳腺、腫瘍周囲組織では

発現しません。このことから、この遺伝子が腫瘍プロセスにおいて何らかの役割を果たしている可能性が示唆されます。同じタンパク質をコードする選択的スプライスバリエントが同定されています。[RefSeq 提供、2011 年 1 月],触媒活性: この組換え酵素は、タンパク質 (血清アルブミン、コラーゲン) および合成基質 (Z-Phe-Arg-NHMec > Z-Leu-Arg-NHMec > Z-Val-Arg-NHMec) を加水分解します。機能: システインプロテアーゼ。角膜生理において重要な役割を果たす可能性がある。類似性: ペプチダーゼ C1 ファミリーに属する。組織特異性: 主に胸腺と精巣で発現する。また、角膜上皮にも発現し、結膜上皮および皮膚にも少量発現する。

## 研究分野

リソソーム;

## 画像データ



エトポシド 25 $\mu$ M で 1 時間処理した 293 細胞および COS 細胞のライセートを、CATL2 (Cleaved-Leu114) 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



切断型カテプシン L2 (L114) ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析